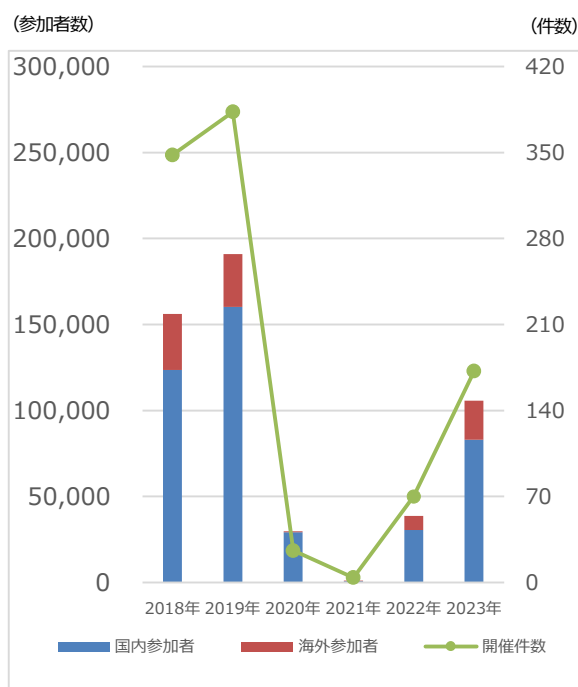


2023年京都開催の国際会議統計の発表について

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューローでは、日本政府観光局（JNTO）基準*による2023年1月～12月の京都における国際会議の開催実績を集計しましたので、お知らせします。

- 2023年は、4月に水際対策が終了し、新型コロナウイルス感染症の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられたことや、これまでの弛まぬ誘致活動、助成金の新設など様々な取組が功を奏し、JNTO基準による国際会議の開催件数は京都市域で172件（前年比2.4倍）、市域を除く京都府域では9件を記録しました。市域では、10月に国連が主催する「インターネット・ガバナンス・フォーラム京都2023」が日本で初めて開催され、2021年以来2年ぶりに国連主催会議が開催されました。
- JNTO統計より厳しい基準である、国際会議協会（ICCA）基準においては、京都市の件数が前年より12件増の41件、世界ランキングも14位上がり、世界52位となりました。
- また、京都府域（市域を除く）についても、府域北部の特性を生かした国際会議が開催され、府域南部へのエクスカージョンも実施されるなど、府域のMICEの活性化が少しずつみられています。
- こうした回復が見られる中、環境にやさしく、地域と調和したMICE都市を目指し、MICE開催時におけるサステナブルな取組も推進しています。
- 当財団では、引き続き、会員企業・団体の皆様、京都府、京都市、京都商工会議所、国立京都国際会館、京都市勧業館みやこめっせ等各施設、京都府警、京都大学等各大学などの皆様との連携をさらに強化するとともに、SDGsに資するより一層良質な国際会議の誘致、安心・安全な開催の支援に努めてまいります。

年別開催件数・参加者数(京都市域)



京都市域	開催件数	172件	前年比	245.7%
	総参加者数	105,700人	前年比	283.4%
京都市域を除く府域	開催件数	9件	前年比	150.0%
	総参加者数	3,933人	前年比	179.9%
京都府全域合計	開催件数	180件*	前年比	236.8%
	総参加者数	109,562人*	前年比	277.5%

(*:1件府・市重複あり/府・市重複分は1件として集計)

※国際会議の計上基準

開催形態	計上基準
現地開催	以下の①～④の全てを満たす会議を国際会議として計上(JNTO基準) ① 主催者:「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数:50名以上 ③ 参加国数:日本を含む3か国以上 ④ 開催期間:1日以上
ハイブリッド開催	・現地開催とオンライン開催を併せた開催形態 ・現地参加者が、「現地開催」の基準を満たす会議のみ件数計上し、参加人数は現地参加者数のみを計上
オンライン開催	・オンラインのみで開催される開催形態 ・現地参加者が存在しないため計上しない